

●開会挨拶 会場:A会場 白鷹館 (09:30-09:40)

■海洋研究開発機構 理事長 加藤 康宏

●口頭発表 A会場 白鷹館

セッション1:海洋資源の利用に向けた基盤ツール 開発 (09:40-10:40)

座長:後藤 忠徳(京都大学)

BE11-01 福場 辰洋(東京大学)他
現場化学センサ・分析装置を用いた北東伊是名海域における新規熱水活動の探査:NT10-16調査航海概要

BE11-02 Blair Thornton(東京大学)他
音響厚み計測・3D画像マッピングを用いた拓洋第5海山におけるマンガンクラスト調査

BE11-03 Sangekar Mehul Naresh(東京大学)他
水中ロボットの自動着底アルゴリズムの開発:手石海丘における実海域実験

BE11-04 後藤 忠徳(京都大学)他
ROVを用いた海底電気探査技術の開発

セッション2:水中音響技術 (10:45-11:30)

座長:越智 寛(海洋研究開発機構)

BE11-05 澤 隆雄(海洋研究開発機構)他
中性浮力曳航体を用いた合成開口ソナーシステム

BE11-06 志村 拓也(海洋研究開発機構)他
位相共役波による長距離音響通信の実海域試験結果

BE11-07 越智 寛(海洋研究開発機構)他
駿波湾における水中高速音響通信実験

昼休み 11:30-12:30

ポスターセッション 会場:中部講堂 12:30-14:00

セッション3:AUVの活用とその成果 (14:05-15:20)

座長:藤井 輝夫(東京大学)

BE11-08 中村 謙太郎(海洋研究開発機構)他
「うらしま」は見た! :南部マリアナにおける新規熱水噴出孔の発見

BE11-09 藤井 輝夫(東京大学)他
AUVによるマッピングに基づく適応的現場計測の試み
-NT10-05 Leg2航海報告その1-

BE11-10 石橋 純一郎(九州大学)他
鹿児島湾若尊火口底熱水域における熱水化学反応の解明
-NT10-05 Leg2航海報告その2-

BE11-11 巻 俊宏(東京大学)他
自律型海中ロボットによる鹿児島湾サツマハオリムシ群集の広域3次元画像マッピング

BE11-12 馬場 俊孝(海洋研究開発機構)他
2009年8月11日駿河湾の地震で誘発した海底地すべり

セッション4:メタンハイドレート (15:30-16:15)

座長:竹内 章(富山大学)

BE11-13 竹内 章(富山大学)他
富山トラフの地殻変動場とメタンハイドレートの起源(序)

BE11-14 松本 良(東京大学)他
AUV「うらしま」によるガスハイドレート・マウンドの高精度イメージングからガスハイドレートの集積とマウンドの発達に関する考察

BE11-15 松本 良(東京大学)他
ガスハイドレート地帯におけるホバリング型AUVの展開
-ベニズワイガニの棲息分布からガス噴出の頻度を探る-

●総合討論会 会場:A会場 白鷹館 (16:25-17:25)

- ・大規模航海の実現に向けて
- ・海洋調査プラットフォームの今後の展開 他

●挨拶 会場:A会場 白鷹館 (17:25-17:30)

■海洋研究推進委員会委員長 小池 勲夫(琉球大学 監事)

●口頭発表 B会場 楽水会館

セッション5:北極研究 I (09:45-10:45)

座長:菊池 隆(海洋研究開発機構)

BE11-16 堀 正岳(海洋研究開発機構)他
Iridium Openportを用いた北極海への観測支援資料の準リアルタイム配信

BE11-17 猪上 淳(海洋研究開発機構)他
北極海で発生・発達する「温帯」低気圧のライフサイクル

BE11-18 佐藤 和敏(海洋研究開発機構/弘前大学)他
北極海で発生する雲の鉛直構造の変化について

BE11-19 伊東 素代(海洋研究開発機構)他
太平洋側北極海の海洋構造の経年変動

セッション6:北極研究 II (10:50-11:35)

座長:伊東 素代(海洋研究開発機構)

BE11-20 川口 悠介(海洋研究開発機構)他
みらい北極航海MR10-05で観測された時計回りの温暖な傾圧渦に関して

BE11-21 西野 茂人(海洋研究開発機構)他
北極海の水氷融解に伴う陸棚輸送過程の変化と生態系への影響

BE11-22 松野 孝平(北海道大学)他
夏季の西部北極海における主要カイヤシ類の化学組成と消化色素量

昼休み 11:35-12:30

ポスターセッション 会場:中部講堂 12:30-14:00

セッション7:物質循環 (14:00-15:15)

座長:青山 道夫(気象研究所)

BE11-23 青山 道夫(気象研究所)他
海水中栄養塩の長期変動の研究:比較可能性が確保された全球栄養塩データセットの作成とその解析

BE11-24 青山 道夫(気象研究所)他
海洋環境における人工放射性核種の長期挙動の研究:
太平洋における¹³⁷Csの3次元分布とモデル計算結果

BE11-25 内田 裕(海洋研究開発機構)他
海水の絶対塩分の評価

BE11-26 小野寺 文尚太郎(海洋研究開発機構)他
2008年11月-2010年1月の北太平洋西部亜寒帯Station K2における珪藻沈降フラックス

BE11-27 木元 克典(海洋研究開発機構)他
北西部北太平洋K2ステーションにおけるセジメントトラップ中の浮遊性有孔虫群集と安定同位体比変化

セッション8:大気・海洋 (15:20-16:20)

座長:城岡 竜一(海洋研究開発機構)

BE11-28 城岡 竜一(海洋研究開発機構)他
PALAU-2010集中観測期間における大気と海洋表層の変動

BE11-29 吉田 龍二(京都大学)他
PALAU2010で観測された渦状擾乱の発生過程に関する数値実験

BE11-30 西澤 智明(国立環境研究所)他
みらい搭載2波長偏光ライダーによる熱帯域洋上でのエアロゾル・雲観測と全球エアロゾル輸送モデルとの比較

BE11-31 鷹野 敏明(千葉大学)他
千葉大ミズ波雲レーダ FALCON-Iによる雲の高分解能ドップラー観測

●ポスターセッション 会場:中部講堂 (12:30-14:00)

BE11-P01 佐藤和敏(海洋研究開発機構/弘前大学)他
北極海で発生する雲の鉛直構造の変化について

BE11-P02 新明 克仁(北海道大学)他
光吸収係数を用いた基礎生産量推定アルゴリズムの極域への適用

BE11-P03 福田 秀樹(東京大学)他
西部北極海水柱における従属栄養性微細毛虫類の鉛直分布

BE11-P04 佐藤 千恵(筑波大学)他
北極海海洋炭素循環に関する海洋古細菌群集の評価

BE11-P05 内宮 万里央(東京大学)他
西部北極海における原核微生物生産速度の全深度分布
-中深層への有機炭素供給機構とその強度の評価-

BE11-P06 児玉 武稔(東京大学)他
西部太平洋亜熱帯表層における栄養塩ダイナミクス

BE11-P07 眞雅 朝子(東京大学)他
海底熱水鉱床の年代測定:
硫化鉱物におけるウラン・トリウム放射非平衡年代測定の開発

BE11-P08 佐藤 文寛(岡山理科大学)他
海底熱水性重晶石を用いたESR年代測定と信号の熱安定性

BE11-P09 平田 賢治(気象庁/海洋研究開発機構)他
KH-10-5 Leg.1スマトラ北西沖高解像度反射法地震・音響探査速報

BE11-P10 池原 研(産業技術総合研究所)他
日本海新潟へ能登半島沖の堆積物の火山灰層序と堆積作用

BE11-P11 柏野 祐二(海洋研究開発機構)他
西部熱帯太平洋において観測された海洋の微細構造

BE11-P12 宮本 佳明(京都大学)他
3次元変分法を用いたボーガス・外洋上レーダーデータ同化の熱帯低気圧予報への影響

BE11-P13 長谷川 拓也(海洋研究開発機構)他
西部熱帯太平洋における海洋表層塩分の準10年スケール変動特性

BE11-P14 安藤 健太郎(海洋研究開発機構)他
東経156度赤道地衡流計算に対する水温塩分時系列データのインパクト

BE11-P15 木戸 元之(東北大学)他
YK10-09 熊野沖南海トラフ航海報告

BE11-P16 小松 千余(高知大学)他
熊野沖南海トラフ堆積物の粒径分布および組織

BE11-P17 三宅 裕志(北里大学/海洋研究開発機構)他
深海観察ツールを用いた深海ゴミアの研究の可能性

BE11-P18 佐々木 建一(海洋研究開発機構)他
南太平洋での下部同種深層水のCFCs年齢について

BE11-P19 植木 巖(海洋研究開発機構)他
インド洋RAMAアレイの状況とインド洋TRITONデータの公開

BE11-P20 纈纈 慎也(海洋研究開発機構)他
垂下式ADCP観測とCTDの挙動

BE11-P21 吉田 龍二(京都大学)他
PALAU2010で観測された渦状擾乱の発生過程に関する数値実験

BE11-P22 布川 章子(海洋研究開発機構)他
マリアナ弧火山East DiamanteとZealandia Bankの岩石学的検討

BE11-P23 山下 幹也(海洋研究開発機構)他
伊豆小笠原海域におけるIODP掘削サイト評価に向けた地殻構造イメージング

BE11-P24 谷 健一郎(海洋研究開発機構)他
初期フィリピン海プレート地殻構造の全容解明に向けた大東海嶺群における潜航調査:YK10-04航海速報

BE11-P25 石井 輝秋(深地地質研究所)他
南鳥島周辺の小型海底火山の地質・岩石・鉄マンガン酸化物の研究

BE11-P26 町山 栄章(海洋研究開発機構)他
NT10-10 Leg.2航海(上越海盆西部)の調査概要と熱流量稠密観測
-上越沖ガスハイドレートマウンドの流体挙動解明に向けて-

BE11-P27 落合 博之(明治大学)他
TDR法を用いた水深1000mにおけるガスハイドレート含有堆積物中のガス量の見積もり

BE11-P28 沼波 秀樹(東京家政学院大学)他
上越沖ガスハイドレート域でのマクロベントスの分布(予報)

BE11-P29 千葉 元(富山高専専門学校)他
CTD・音響測深機・深海画像による富山トラフの海洋構造調査

BE11-P30 宿野 浩司(海洋研究開発機構)他
ハイパードルフィンによるマリアナ弧南部の海底火山の調査

BE11-P31 尾鼻 浩一郎(海洋研究開発機構)他
南部伊豆小笠原弧における地殻構造解析を目的とした海底地震観測

BE11-P32 尾鼻 浩一郎(海洋研究開発機構)他
カナダ・カスカディア地震発生帯における海底地震観測

BE11-P33 植田 勇人(弘前大学)他
小笠原弧大町海山における蛇紋岩の分布(YK10-13 Leg2速報)

BE11-P34 山本 揚二郎(海洋研究開発機構)他
自然地震観測による日向灘の地震学的構造

BE11-P35 松本 剛(琉球大学)他
拡大海嶺軸の沈み込みのメカニズム:チリ海嶺による検証

BE11-P36 高橋 努(海洋研究開発機構)他
日向灘における速度ゆらぎの空間分布

BE11-P37 上杉 麻純(金沢大学)他
マリアナトラフ背弧拡大軸17°Nの溶岩流形態について
-しんかい6500による潜航調査-

BE11-P38 山口 正規(千葉大学)他
深海微生物の微細形態と進化

BE11-P39 太田 裕也(日本大学)他
大腸菌を異なる塩濃度で培養したときの静水圧の影響

BE11-P40 座間 千夏(東京海洋大学)他
深海微生物が産する好圧性エステラーゼに関する研究

BE11-P41 緒方 亜実(東京海洋大学)他
深海微生物由来の細胞外高分子の解析

BE11-P42 坂本 詩織(東京海洋大学)他
深海微生物由来の細胞外高分子物質の単離とその性状

BE11-P43 瀧島 裕輝(立教大学)他
深海由来の好冷好圧細菌のイソプロピルリンゴ酸脱水素酵素の加圧下における活性について

BE11-P44 宮崎 淳一(海洋研究開発機構)他
カンダタプロジェクト
-ROVによる掘削孔内設置型サンプリングシステムの開発-

BE11-P45 川端 建徳(東京海洋大学)他
深海クラゲの有するポリペプチド毒素の精製

BE11-P46 井上 広滋(東京大学)他
NT10-08初島沖・明神海丘航海概要:化学合成生態系構成生物の環境適応機構・共生機構・微細構造の解明をめざして

BE11-P47 鹿野 寛哉(山形大学)他
MR08-06 Leg2チリ沖およびフィヨルド中におけるマイクロプランクトン群集の分類

BE11-P48 今野 進(山形大学)他
インド洋~南大洋(KH07-4 Leg.3)におけるマイクロプランクトン群集の分布

BE11-P49 植松 勝之(株式会社マリン・ワーク・ジャパン)他
シマシロウリガイ共生細菌の超微形態解析

BE11-P50 根本 卓(新江ノ島水族館)他
シロウリガイ類を常圧下で飼育するためには

BE11-P51 北嶋 円(新江ノ島水族館)他
水槽内で観察されたシロウリガイ類の移動

BE11-P52 池田 周平(北里大学)他
ユノハナガニ Gandalfus yunohana はなぜ熱に集まるのか?

BE11-P53 西川 淳(東京大学)他
動物プランクトンとマリンズノー:画像解析と計測の最先端

BE11-P54 上嶋 正人(産業技術総合研究所)他
市販ビデオカメラによる深海底の映像について
-NT09-16航海ハイパードルフィン#1043潜航時の海底映像-

BE11-P55 Christophe Provin(東京大学)他
Detection of new hydrothermal sources thanks to in situ manganese analysis

BE11-P56 溝田 あゆみ(日本海洋事業株式会社)他
「かわいい」MCS振源波形の改善

BE11-P57 福田 達也(海洋研究開発機構)他
南大洋表面ブイの開発に向けて

BE11-P58 Blair Thornton(東京大学)他
音響厚み計測・3D画像マッピングを用いた拓洋第5海山におけるマンガンクラスト調査

BE11-P59 Sangekar Mehul Naresh(東京大学)他
水中ロボットの自動着底アルゴリズムの開発:手石海丘における実海域実験

●懇談会(若手奨励賞表彰を含む) 会場:東京海洋大学 食堂 (17:45~)